

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

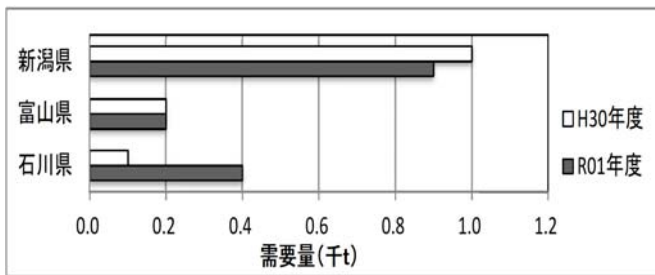
新潟・富山、2県の出荷状況

令和元年度4月～6月期の出荷量は、新潟県は前年比増減なしで500t、富山県は前年比100t増の700tで2県の出荷量合計は、1,200tで前年同期比9%増となった。

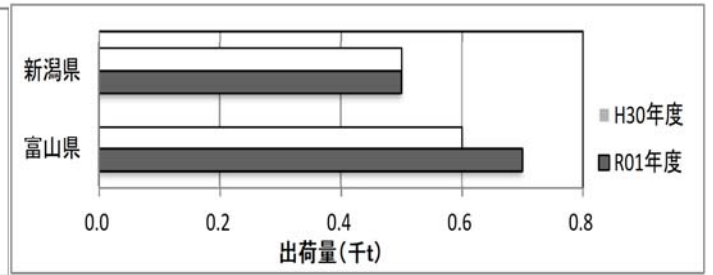
新潟・富山・石川、3県の需要動向

令和元年度4月～6月期の3県需要の合計は、1,500tで前年同期比15%増(200t増)となっている。県別では、新潟県が10%減(100t減)、富山県が増減なし(±0t)、石川県が300%増(300t増)であった。

ヒューム管需要量の推移(4月～6月期)



ヒューム管出荷量の推移(4月～6月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	平成30年度 年計	令和元年度				累計
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	▲40	▲10				▲10
	4.8	0.9				0.9
富山県	▲55	0				0
	1.5	0.2				0.2
石川県	▲63	300				300
	0.6	0.4				0.4
3県計	▲47	15				15
	6.9	1.5				1.5

(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	平成30年度 年計	令和元年度				累計
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	▲57	0				0
	3.3	0.5				0.5
富山県	17	17				17
	3.4	0.7				0.7
2県計	▲36	9				9
	6.7	1.2				1.2

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計(3県以外への出荷を含)